



PATENT APPLICATION

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re the Application of

Kazutaka SAITOH et al.

Application No.: 10/645,905

Filed: August 22, 2003

Docket No.: 116918

For: IMAGE PROCESSING DEVICE AND RECEIVED DOCUMENT SORTING CONTROL
METHOD FOR SAME

CLAIM FOR PRIORITY

Commissioner for Patents
P.O. Box 1450
Alexandria, VA 22313-1450

Sir:

The benefit of the filing date of the following prior foreign application filed in the following foreign country is hereby requested for the above-identified patent application and the priority provided in 35 U.S.C. §119 is hereby claimed:

Japanese Patent Application No. 2002-272084 filed September 18, 2002.

In support of this claim, a certified copy of said original foreign application:

☒ is filed herewith.

It is requested that the file of this application be marked to indicate that the requirements of 35 U.S.C. §119 have been fulfilled and that the Patent and Trademark Office kindly acknowledge receipt of this document.

Respectfully submitted,

James A. Oliff
Registration No. 27,075

Thomas J. Pardini
Registration No. 30,411

JAO:TJP/mxf

Date: December 10, 2003

OLIFF & BERRIDGE, PLC
P.O. Box 19928
Alexandria, Virginia 22320
Telephone: (703) 836-6400

**DEPOSIT ACCOUNT USE
AUTHORIZATION**

Please grant any extension
necessary for entry;
Charge any fee due to our
Deposit Account No. 15-0461

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 2 年 9 月 1 8 日
Date of Application:

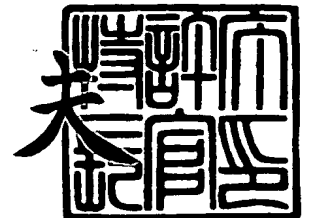
出 願 番 号 特 願 2 0 0 2 - 2 7 2 0 8 4
Application Number:
[ST. 10/C] : [J P 2 0 0 2 - 2 7 2 0 8 4]

出 願 人 富 士 ゼ ロ ッ ク ス 株 式 会 社
Applicant(s):

2 0 0 3 年 1 0 月 3 1 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康 夫



出証番号 出証特 2 0 0 3 - 3 0 9 0 7 0 5

【書類名】 特許願

【整理番号】 FE02-01180

【提出日】 平成14年 9月18日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04N 1/32

【発明者】

 【住所又は居所】 埼玉県岩槻市府内3丁目7番1号 富士ゼロックス株式会社岩槻事業所内

 【氏名】 齋藤 一孝

【発明者】

 【住所又は居所】 埼玉県岩槻市府内3丁目7番1号 富士ゼロックス株式会社岩槻事業所内

 【氏名】 前井 佳博

【発明者】

 【住所又は居所】 埼玉県岩槻市府内3丁目7番1号 富士ゼロックス株式会社岩槻事業所内

 【氏名】 鷺谷 喜春

【発明者】

 【住所又は居所】 埼玉県岩槻市府内3丁目7番1号 富士ゼロックス株式会社岩槻事業所内

 【氏名】 藤井 秀樹

【発明者】

 【住所又は居所】 埼玉県岩槻市府内3丁目7番1号 富士ゼロックス株式会社岩槻事業所内

 【氏名】 川畑 広隆

【特許出願人】

 【識別番号】 000005496

 【氏名又は名称】 富士ゼロックス株式会社

【代理人】

【識別番号】 100071054

【弁理士】

【氏名又は名称】 木村 高久

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 006460

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 画像処理装置及びその受信文書振分制御方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 インターネットを介したファクシミリ通信手段を具え、該ファクシミリ通信手段により文書を受信する画像処理装置の受信文書振分制御方法であって、

受信した文書が自動振り分け対象であるか否か判定すると共に、自動振り分けする場合の所定の振り分け方法を判定する所定条件情報を予め設定し、

送信側から通知されてくる送信識別情報の内容を前記設定された所定条件情報に基づいてチェックして当該通信による受信文書が自動振り分け対象であると判定された場合に該当する所定振り分け方法に応じて当該通信による受信文書の自動振り分け処理を制御する

ことを特徴とする受信文書振分制御方法。

【請求項 2】 インターネットを介したファクシミリ通信手段を具え、該ファクシミリ通信手段により文書を受信する画像処理装置の受信文書振分制御方法であって、

緊急文書の所定の振り分け方法を予め設定し、

送信側から通知されてくる送信識別情報の内容をチェックして当該通信が緊急度の高い通信である場合に前記設定されている緊急時の所定の振り分け方法に応じて当該緊急文書の振り分け処理を制御する

ことを特徴とする受信文書振分制御方法。

【請求項 3】 インターネットを介したファクシミリ通信手段を具え、該ファクシミリ通信手段により文書を受信する画像処理装置の受信文書振分制御方法であって、

受信した文書が自動振り分け対象であるか否か判定すると共に、自動振り分けする場合の所定の振り分け方法を判定する所定条件情報を予め設定すると共に、緊急文書の所定の振り分け方法を予め設定し、

送信側から通知されてくる送信識別情報の内容をチェックして当該通信が緊急度の高い通信である場合に前記設定されている緊急時の所定の振り分け方法に応

じて当該緊急文書の振り分け処理を制御すると共に、

前記チェックの結果、当該通信が緊急度の高くない通信であった場合でも、送信側から通知されてくる送信識別情報の内容を前記設定された所定条件情報に基づいてチェックして当該通信による受信文書が自動振り分け対象であると判定された場合に該当する所定振り分け方法に応じて当該通信による受信文書の自動振り分け処理を制御する

ことを特徴とする受信文書振分制御方法。

【請求項 4】 前記送信識別情報に含まれるユーザ名、電話番号、ドメイン名、送信機が属する組織名に応じて自動振り分けをするかしないか、及び自動振り分けする場合の所定の振り分け方法を設定することを特徴とする請求項 1 または 3 記載の受信文書振分制御方法。

【請求項 5】 予め指定された親展ボックスへの振り分け、予め指定された排出トレイやメールボックス等のアウトプット装置への振り分け、予め指定されたパーソナルコンピュータへの転送振り分け、のいずれかの振り分け方法を設定することを特徴とする請求項 1 乃至 3 記載の受信文書振分制御方法。

【請求項 6】 前記所定の振り分け方法と共に、所定の通知先に対してファクシミリ受信の入電通知を行うか否かを設定することを特徴とする請求項 1 乃至 3 記載の受信文書振分制御方法。

【請求項 7】 インターネットを介したファクシミリ通信手段を具え、該ファクシミリ通信手段により文書を受信する画像処理装置であって、

受信した文書が自動振り分け対象であるか否か判定すると共に、自動振り分けする場合の所定の振り分け方法を判定する所定条件情報を予め設定する設定手段と、

送信側から通知されてくる送信識別情報を記憶する記憶手段と、

前記記憶手段に記憶した送信識別情報の内容を前記設定された所定条件情報に基づいてチェックして当該通信による受信文書が自動振り分け対象であるか否かを判定する判定手段と、

前記判定手段の判定により当該通信による受信文書が自動振り分け対象であると判定された場合に該当する所定振り分け方法に応じて当該通信による受信文書

の自動振り分け処理を制御する受信文書振分制御手段と
を具備することを特徴とする画像処理装置。

【請求項 8】 インターネットを介したファクシミリ通信手段を具え、該ファクシミリ通信手段により文書を受信する画像処理装置であって、
緊急文書の所定の振り分け方法を予め設定する設定手段と、
送信側から通知されてくる送信識別情報を記憶する記憶手段と、
前記記憶手段に記憶した送信識別情報の内容をチェックして当該通信が緊急度の高い通信であるか否かを判定する判定手段と、
前記判定手段の判定により当該通信が緊急度の高い通信であると判定された場合に前記設定されている緊急時の所定の振り分け方法に応じて当該緊急文書の振り分け処理を制御する受信文書振分制御手段と
を具備することを特徴とする画像処理装置。

【請求項 9】 インターネットを介したファクシミリ通信手段を具え、該ファクシミリ通信手段により文書を受信する画像処理装置であって、
受信した文書が自動振り分け対象であるか否かを判定すると共に、自動振り分けする場合の所定の振り分け方法を判定する所定条件情報を予め設定すると共に、緊急文書の所定の振り分け方法を予め設定する設定手段と、
送信側から通知されてくる送信識別情報を記憶する記憶手段と、
前記記憶手段に記憶した送信識別情報の内容をチェックして当該通信が緊急度の高い通信であるか否かを判定する第 1 の判定手段と、
前記第 1 の判定手段の判定の結果、当該通信が緊急度の高くない通信であった場合でも、送信側から通知されてくる送信識別情報の内容を前記設定された所定条件情報に基づいてチェックして当該通信による受信文書が自動振り分け対象であるか否かを判定する第 2 の判定手段と、
前記第 1 の判定手段の判定により当該通信が緊急度の高い通信であると判定された場合に前記設定されている緊急時の所定の振り分け方法に応じて当該緊急文書の振り分け処理を制御すると共に、前記第 2 の判定手段の判定により当該通信による受信文書が自動振り分け対象であると判定された場合に該当する所定振り分け方法に応じて当該通信による受信文書の自動振り分け処理を制御する受信文

書振分制御手段と

を具備することを特徴とする画像処理装置。

【請求項 10】 前記設定手段は、

前記送信識別情報に含まれるユーザ名、電話番号、ドメイン名、送信機が属する組織名に応じて自動振り分けをするかしないか、及び自動振り分けする場合の所定の振り分け方法を設定することを特徴とする請求項 7 または 9 記載の画像処理装置。

【請求項 11】 前記設定手段は、

予め指定された親展ボックスへの振り分け、予め指定された排出トレイやメールボックス等のアウトプット装置への振り分け、予め指定されたパーソナルコンピュータへの転送振り分け、のいずれかの振り分け方法を設定することを特徴とする請求項 7 乃至 9 記載の画像処理装置。

【請求項 12】 前記設定手段は、

前記所定の振り分け方法と共に、所定の通知先に対してファクシミリ受信の入電通知を行うか否かを設定することを特徴とする請求項 7 乃至 9 記載の画像処理装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、インターネットを介したファクシミリ通信手段を具え、該ファクシミリ通信手段により文書を受信する画像処理装置に関し、特に、インターネットを介したファクシミリ通信において、受信文書を受信者側の所望する方法により自動的に振り分けることを可能にした画像処理装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

従来、受信者の意思で目的とするデータボックスに受信データを振り分け蓄積することのできる通信端末装置が知られている（例えば、特許文献 1 参照）。

【0003】

即ち、上記通信端末装置は、送信識別情報（端末識別信号、発信者電話番号通

信サービスにより交換機から通知される電話番号) や着番号情報別 (D i a l i n s e r v i c e を使用した場合、網から通知される着番号情報) に B O X 振り分けを実施するものであり、電話網に接続される G 3 ファクシミリ及び I S D N 網に接続される G 3 / G 4 ファクシミリ等のファクシミリ通信装置が対象となっている。

【0004】

ところで、近年では、電話網から I P 網への移行が急速に進む中、I T U - T T 3 7、I T U - T T 3 8 に基づいた手順によりインターネットファクシミリ通信を行う画像処理装置が登場し、通信端末装置も I P に対応するものに変化する傾向がある。

【0005】

受信文書を振り分ける機能は、受信文書が正当な受信者に渡るまでの手間を省くことができ、プライバシーの観点からも有益な機能であるが、インターネットファクシミリ通信においては、上述の従来の通信端末装置では、上記 B O X 振り分けを判定する識別情報を利用することができない為、開示されている技術では振り分け処理が行えない。

【0006】

【特許文献1】

特開平 2002-135552 号公報

【発明が解決しようとする課題】

上述の如く、従来のファクシミリ通信装置にあつては、インターネットを介したファクシミリ通信において受信文書の振り分けを行う方法が無いのが現状である。

【0007】

そこで、本発明は上記実情を鑑み、インターネットを介したファクシミリ通信において、受信文書を受信者側の所望する方法により自動的に振り分けることが可能な画像処理装置及びその受信文書振分制御方法の提供を目的とするものである。

【0008】**【課題を解決するための手段】**

上記目的を達成するために、請求項1の発明は、インターネットを介したファクシミリ通信手段を具え、該ファクシミリ通信手段により文書を受信する画像処理装置の受信文書振分制御方法であって、受信した文書が自動振り分け対象であるか否か判定すると共に、自動振り分けする場合の所定の振り分け方法を判定する所定条件情報を予め設定し、送信側から通知されてくる送信識別情報の内容を前記設定された所定条件情報に基づいてチェックして当該通信による受信文書が自動振り分け対象であると判定された場合に該当する所定振り分け方法に応じて当該通信による受信文書の自動振り分け処理を制御することを特徴とする。

【0009】

また、請求項2の発明は、インターネットを介したファクシミリ通信手段を具え、該ファクシミリ通信手段により文書を受信する画像処理装置の受信文書振分制御方法であって、緊急文書の所定の振り分け方法を予め設定し、送信側から通知されてくる送信識別情報の内容をチェックして当該通信が緊急度の高い通信である場合に前記設定されている緊急時の所定の振り分け方法に応じて当該緊急文書の振り分け処理を制御することを特徴とする。

【0010】

また、請求項3の発明は、インターネットを介したファクシミリ通信手段を具え、該ファクシミリ通信手段により文書を受信する画像処理装置の受信文書振分制御方法であって、受信した文書が自動振り分け対象であるか否か判定すると共に、自動振り分けする場合の所定の振り分け方法を判定する所定条件情報を予め設定すると共に、緊急文書の所定の振り分け方法を予め設定し、送信側から通知されてくる送信識別情報の内容をチェックして当該通信が緊急度の高い通信である場合に前記設定されている緊急時の所定の振り分け方法に応じて当該緊急文書の振り分け処理を制御すると共に、前記チェックの結果、当該通信が緊急度の高くない通信であった場合でも、送信側から通知されてくる送信識別情報の内容を前記設定された所定条件情報に基づいてチェックして当該通信による受信文書が自動振り分け対象であると判定された場合に該当する所定振り分け方法に応じて

当該通信による受信文書の自動振り分け処理を制御することを特徴とする。

【 0 0 1 1 】

また、請求項 4 の発明は、請求項 1 または 3 の発明において、前記送信識別情報に含まれるユーザ名、電話番号、ドメイン名、送信機が属する組織名に応じて自動振り分けをするかしないか、及び自動振り分けする場合の所定の振り分け方法を設定することを特徴とする。

【 0 0 1 2 】

また、請求項 5 の発明は、請求項 1 または 3 の発明において、予め指定された親展ボックスへの振り分け、予め指定された排出トレイやメールボックス等のアウトプット装置への振り分け、予め指定されたパーソナルコンピュータへの転送振り分け、のいずれかの振り分け方法を設定することを特徴とする。

【 0 0 1 3 】

また、請求項 6 の発明は、請求項 1 または 3 の発明において、前記所定の振り分け方法と共に、所定の通知先に対してファクシミリ受信の入電通知を行うか否かを設定することを特徴とする。

【 0 0 1 4 】

また、請求項 7 の発明は、インターネットを介したファクシミリ通信手段を具え、該ファクシミリ通信手段により文書を受信する画像処理装置であって、受信した文書が自動振り分け対象であるか否かを判定すると共に、自動振り分けする場合の所定の振り分け方法を判定する所定条件情報を予め設定する設定手段と、送信側から通知されてくる送信識別情報を記憶する記憶手段と、前記記憶手段に記憶した送信識別情報の内容を前記設定された所定条件情報に基づいてチェックして当該通信による受信文書が自動振り分け対象であるか否かを判定する判定手段と、前記判定手段の判定により当該通信による受信文書が自動振り分け対象であると判定された場合に該当する所定振り分け方法に応じて当該通信による受信文書の自動振り分け処理を制御する受信文書振分制御手段とを具備することを特徴とする。

【 0 0 1 5 】

また、請求項 8 の発明は、インターネットを介したファクシミリ通信手段を具

え、該ファクシミリ通信手段により文書を受信する画像処理装置であって、緊急文書の所定の振り分け方法を予め設定する設定手段と、送信側から通知されてくる送信識別情報を記憶する記憶手段と、前記記憶手段に記憶した送信識別情報の内容をチェックして当該通信が緊急度の高い通信であるか否かを判定する判定手段と、前記判定手段の判定により当該通信が緊急度の高い通信であると判定された場合に前記設定されている緊急時の所定の振り分け方法に応じて当該緊急文書の振り分け処理を制御する受信文書振分制御手段とを具備することを特徴とする。

【0016】

また、請求項9の発明は、インターネットを介したファクシミリ通信手段を具備し、該ファクシミリ通信手段により文書を受信する画像処理装置であって、受信した文書が自動振り分け対象であるか否かを判定すると共に、自動振り分けする場合の所定の振り分け方法を判定する所定条件情報を予め設定すると共に、緊急文書の所定の振り分け方法を予め設定する設定手段と、送信側から通知されてくる送信識別情報を記憶する記憶手段と、前記記憶手段に記憶した送信識別情報の内容をチェックして当該通信が緊急度の高い通信であるか否かを判定する第1の判定手段と、前記第1の判定手段の判定の結果、当該通信が緊急度の高くない通信であった場合でも、送信側から通知されてくる送信識別情報の内容を前記設定された所定条件情報に基づいてチェックして当該通信による受信文書が自動振り分け対象であるか否かを判定する第2の判定手段と、前記第1の判定手段の判定により当該通信が緊急度の高い通信であると判定された場合に前記設定されている緊急時の所定の振り分け方法に応じて当該緊急文書の振り分け処理を制御すると共に、前記第2の判定手段の判定により当該通信による受信文書が自動振り分け対象であると判定された場合に該当する所定振り分け方法に応じて当該通信による受信文書の自動振り分け処理を制御する受信文書振分制御手段とを具備することを特徴とする。

【0017】

また、請求項10の発明は、請求項7または9の発明において、前記設定手段は、前記送信識別情報に含まれるユーザ名、電話番号、ドメイン名、送信機が属

する組織名に応じて自動振り分けをするかしないか、及び自動振り分けする場合の所定の振り分け方法を設定することを特徴とする。

【0018】

また、請求項 11 の発明は、請求項 7 乃至 9 の発明において、前記設定手段は、予め指定された親展ボックスへの振り分け、予め指定された排出トレイやメールボックス等のアウトプット装置への振り分け、予め指定されたパーソナルコンピュータへの転送振り分け、のいずれかの振り分け方法を設定することを特徴とする。

【0019】

また、請求項 12 の発明は、請求項 7 乃至 9 の発明において、前記設定手段は、前記所定の振り分け方法と共に、所定の通知先に対してファクシミリ受信の入電通知を行うか否かを設定することを特徴とする。

【0020】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施形態について添付図面を参照して詳細に説明する。

【0021】

図 1 は、本発明に係わる画像処理装置を適用したファクシミリ通信機能を具えた複合機 100 のシステム構成を示すブロック図である。

【0022】

図 1 に示すように、この複合機 100 は、主制御部 (CPU) 101 と、操作部 102 と、画像読取部 (スキャナ) 103 と、画像形成部 (プリンタ) 104 と、画像処理部 105 と、画像蓄積部 106 と、システム制御部 107 と、RAM 108 と、T37 伝送制御部 109 と、T38 伝送制御部 110 と、インターネット通信制御部 111 と、G3 伝送制御部 112 と、G4 伝送制御部 113 とがシステムバス 114 に接続されて構成される。

【0023】

ここで、主制御部 (CPU) 101 は、この複合機 100 における各種計算処理を実行する。

【0024】

操作・表示部 102 は、ユーザがこの複合機 100 における各種設定を行う為の操作部及び表示部を具える。例えば、本実施例では、後述の各設定画面を表示し、この設定画面にてユーザにより各種設定指示される。また、後述のチェックリストデータを登録する際に用いられる。

【0025】

画像読取部 103 は、ユーザによりセットされた原稿等を読み取って入力するスキャナである。

【0026】

画像形成部 104 は、上記画像読取部 103 にて入力した画像データや後述の T37 伝送制御部 109、T38 伝送制御部 110、G3FAX 通信制御部 112、G4FAX 通信制御部 113 等によりファクシミリ通信により受信した画像データに基づき記録紙等に印刷を行うプリンタである。

【0027】

画像処理部 105 は、入力した画像データの各種画像処理を行う。

【0028】

画像蓄積部 106 は、上記画像読取部 103 にて入力した画像データや後述の T37 伝送制御部 109、T38 伝送制御部 110、G3FAX 通信制御部 112、G4FAX 通信制御部 113 等によりファクシミリ通信により受信した画像データを蓄積する。

【0029】

システム制御部 107 は、この複合機 100 全体の制御処理を行う。

【0030】

RAM 108 は、この複合機 100 の動作をコントロールするシステムデータや各種情報を記憶する。尚、本実施例では、後述の各設定画面にて設定した設定情報や、チェックリストデータ等を記憶する。

【0031】

T37 伝送制御部 109 は、ITU-T（国際電気通信連合電気通信標準化部門）勧告 T. 37 手順に従って Store & Forward 型通信プロトコルを制御する。

【0032】

T38 伝送制御部 110 は、ITU-T 勧告 T.38 手順に従って Real 型通信プロトコルを制御する。

【0033】

インターネット通信制御部 111 は、上述の T37 伝送制御部 109 及び上述の T38 伝送制御部 110 を介してインターネットを介した種々のデータのやり取りを制御する。尚、このインターネット通信制御部 111 は、SIP (session initiation protocol) 呼制御部 111a と、PC 文書転送制御部 111b と、FAX 入電通知制御部 111c とを具える。ここで、SIP 呼制御部 111a は、IETF (Internet Engineering Task Force) の RFC 3261 (SIP) および RFC 2327 (SDP) に規定された手順を使用することで、Real time 型 Internet FAX T38 における呼の確立、維持や終了を行う。また、PC 文書転送制御部 111b は、インターネットを介して PC への文書転送を制御する。また、FAX 入電通知制御部 111c は、モバイル機器に対して、FAX 入電の通知制御を実行する。

【0034】

G3 伝送制御部 112 は、G3 ファクシミリ通信手順に従った通信プロトコルを制御する。

【0035】

G4 伝送制御部 113 は、G4 ファクシミリ通信手順に従った通信プロトコルを制御する。

【0036】

システムバス 114 は、上記各構成要素 101～113 を接続し、制御信号や画像データ等の種々のデータを転送する。

【0037】

次に、上記構成による本発明の処理動作 [(1)～(3)] について説明する。

【0038】

(1) まず、インターネットを介してファクシミリ通信を行う画像処理装置にお

いて、通知されてくる送信識別情報（User名、組織名／Domain名、電話番号等の情報）に応じて受信文書の自動振り分け制御する場合について図 2 乃至図 6 を用いて説明する。

【 0 0 3 9 】

図 2 は、インターネットファクシミリ通信において、送信側から通知されてくる送信識別情報（User名、組織名／Domain名、電話番号等の情報）に応じて当該通信の受信文書の自動振り分けを行う場合の処理動作手順について説明する。

【 0 0 4 0 】

図 2 に示すように、この処理では、まず、インターネット通信制御部 1 1 1 が着信を検出すると（ステップ S 1 0 1）、通知されてきた送信識別情報を解析して R A M 1 0 7 に記憶する（ステップ S 1 0 2）。尚、送信識別情報の抽出方法について図 3 に示す。

【 0 0 4 1 】

その後、システム制御部 1 0 6 は通信 J o b を起動し（ステップ S 1 0 3）、画情報通信処理が行われる（ステップ S 1 0 4）。尚、この時、受信文書は画像蓄積部 1 0 6 に蓄積される。

【 0 0 4 2 】

その後、上記通信が完了すると（ステップ S 1 0 5 Y E S）、システム制御部 1 0 6 の制御により指定条件情報に基づき送信識別情報がチェックされる（ステップ S 1 0 6）。

【 0 0 4 3 】

このチェックの結果、当該通信による受信文書の振り分け処理をするかしないかが判定され、該振り分け処理すると判定された場合、当該受信文書の所定の振り分け処理を実行する（ステップ S 1 0 8）。

【 0 0 4 4 】

具体的には、図 4 に示す受信文書の振り分けチェック設定画面 1 0 2 - 1 にてユーザにより指定されたチェック項目をチェックする。尚、この例では、ユーザ名をチェックするように指定されているので、送信側から通知され、R A M 1 0 8 に記憶した記憶した送信識別情報中のユーザ（User）名情報と、図 5 に示すよ

うな予め指定設定されているチェックリスト [同図 5 (a) の User 名チェックリスト] に登録されている登録情報とを比較し、登録されているユーザ名と一致した場合に、同じく該チェックリストに登録されている振り分け種別に従って所定の振り分け処理を実行する。尚、この例では、ユーザ名が「N a k a t a」と一致した場合には、親展 BOX「001」等への転送が行われる。また、ユーザ名が「T o d a」と一致した場合には、OUTPUT 装置「S i d e T r a y」への転送が行われる。また、ユーザ名が「O n o」と一致した場合には、PC 文書転送制御部 111b の制御に基づき PC (転送先 M a i n : Internet HP Address : ○○○○○○) への転送処理が行われる。尚、PC 転送方法としては、受信した FAX 文書を PDF ファイルに変換し、FTP (File Transfer Protocol) - RFC 959 を利用して PC へファイル転送する。

【0045】

そして、この時、同時に、FAX 入電通知を行う否かを判定する (ステップ S 109)。具体的には、上述の図 5 (a) の User 名チェックリストに FAX 入電通知先が登録されているか否かをチェックすることにより判定する。

【0046】

そして、FAX 入電通知を行うと判定されると (ステップ S 109 YES)、該当する通知先に FAX 入電通知を行う (ステップ S 110)。

【0047】

例えば、上述の図 5 (a) に示した User 名チェックリストの例では、ユーザ名が「O n o」と一致した場合、入電通知先に「通知先 S u b 1 : 携帯電話 Mail Address : ×××××」が登録されているので、FAX 入電通知制御部 111c の制御に基づきこの通知先「×××××」に対して FAX 入電 MSG を E - M A i l で通知する。尚、この時、通知先に通知される内容としては、例えば、図 6 に示すような内容が通知される。

【0048】

その後、複合機 100 では、受信したジョブに対するファクシミリ通信処理を完了する。

【0049】

また、他方、上記ステップ S 1 0 7 の判定の結果、振り分け処理を行わないと判定された場合（ステップ S 1 0 7 N O）、通常の受信処理を行う（ステップ S 1 1 1）。

【 0 0 5 0 】

その後、複合機 1 0 0 では、受信したジョブに対するファクシミリ通信処理を完了する。

【 0 0 5 1 】

尚、上記図 5 に示すチェックリストは、図示しない設定画面にてユーザにより指定入力された設定情報に基づきチェックリスト化されシステムデータとして R A M 1 0 8 に格納される。

【 0 0 5 2 】

このような処理を行うことにより、インターネットファクシミリ通信による受信文書を自動的に振り分けることができるので、受信文書が正当な受信者に渡るまでの手間を省くことができる。

【 0 0 5 3 】

また、受信者の作業環境に適合する振り分け方法を選択できることで、作業の効率化を図ることができる。例えば、プライバシーが必要な相手なら B O X への振り分けや、P C への転送を行い、プライバシーが不要な相手なら O u t P u t T r a y、M a i l B o x への排出を行うようにする。

【 0 0 5 4 】

また、モバイルへの F A X 入電通知を必要な相手に行うことにより、受信者の不要な手間を省くことができ、且つ送信者への迅速なサービスが可能となる。

【 0 0 5 5 】

（2）次に、インターネットを介してファクシミリ通信を行う画像処理装置において、通知されてくる送信識別情報に基づき通信の緊急度が高いと判断した場合に受信文書の自動振り分け処理を実行する場合の処理動作について図 7 乃至図 9 を用いて説明する。

【 0 0 5 6 】

図 7 において、この処理では、まず、インターネット通信制御部が着信を検出

すると（ステップS201）、通知されてきた送信識別情報を解析してRAM107に記憶する（ステップS202）。尚、送信識別情報の抽出方法について図3参照のこと。

【0057】

その後、システム制御部106は通信Jobを起動し（ステップS203）、画情報通信処理が行われる（ステップS204）。尚、この時、受信文書は画像蓄積部に蓄積される。

【0058】

その後、上記通信が完了すると（ステップS205YES）、システム制御部106の制御により指定条件情報に基づき送信識別情報がチェックされる（ステップS206）。

【0059】

このチェックの結果、当該通信が緊急度が高いものかどうか判定され、緊急度が高い通信であると判定された場合（ステップS207YES）、当該通信による受信文書の所定の振り分け処理を実行する（ステップS208）。

【0060】

具体的には、図8に示す緊急文書の振り分け機能の設定画面102-2～102-6にてユーザにより指定され、図9に示す緊急度の高い文書の振り分け登録リストに登録された所定の振り分け処理を実行する。

【0061】

そして、この時、同時に、FAX入電通知を行うか否かを判定する（ステップS209）。具体的には、上述の図9の登録リストにFAX入電通知先が登録されているか否かをチェックすることにより判定する。

【0062】

そして、FAX入電通知を行うと判定されると（ステップS209YES）、該当する通知先にFAX入電通知を行う（ステップS210）。

【0063】

尚、上記図9の例では、上記図8に示した設定画面102-2により「3」：PC転送が指定され、設定画面102-5により転送先Main Address：「ftp://

ftp.example.net/pub/users」が登録され、設定画面 1 0 2 - 6 によりFAX入電通知を「する」が指定され、FAX入電通知先Main Address:「User名@ドメイン名」が登録された場合を示しているので、この場合には、図 9 の登録リストに登録されている情報に基づき、P C への転送振り分け処理として、転送先「ftp://ftp.example.net/pub/users」に受信文書の振り分け処理を行うと共に、F A X 入電通知先「User名@ドメイン名」に対してF A X 入電通知を行う。

【 0 0 6 4 】

その後、複合機 1 0 0 では、受信したジョブに対するファクシミリ通信処理を完了する。

【 0 0 6 5 】

また、他方、上記ステップ S 2 0 7 の判定の結果、当該通信が緊急度が高くないと判定された場合（ステップ S 1 0 7 N O ）、通常の受信処理を行う（ステップ S 2 1 1 ）。

【 0 0 6 6 】

その後、複合機 1 0 0 では、受信したジョブに対するファクシミリ通信処理を完了する。

【 0 0 6 7 】

尚、上述の P C 転送の例では、受信文書を指定された P C へ F T P ファイルを転送する場合について説明したが、この他に、インターネットのホームページへの書き込み（自動登録）等、多種の方法も可能であるものとする。尚、インターネットのホームページに自動登録するように設定しておけば、例えば、商店街等の人などパソコンを上手に扱えない人々にとっては、FAXで送ってホームページ上に自己の紹介した情報を書き込める。

【 0 0 6 8 】

尚、上記ステップ S 2 0 7 において、緊急度が高いかどうかを判定する具体的な方法としては、送信識別情報中のPriorityをチェックして判断する。即ち、Priorityで判定を行い、u r g e n t （緊急）及びe m e r g e n c y （非常事態）の場合に緊急度が高いと判断し、n o n - u r g e n t 、 n o r m a l の場合には、緊急度が低いと判断する。

【0069】

このような処理を行うことにより、受信文書を自動的に振り分けることができるので、受信文書が正当な受信者に渡るまでの手間を省くことができる。

【0070】

また、受信文書の緊急度別の自動振り分け機能は、受信者の迅速な処理を促し、送信者へのサービス向上に繋がる。例えば、FAXで商品の申し込みや問合せに迅速な対応を可能とする。

【0071】

また、受信者の作業環境に適合する振り分け方法を選択できることで、作業の効率化を図ることができる。例えば、プライバシーが必要な相手ならBOXへの振り分けや、PCへの転送を行い、プライバシーが不要な相手ならOutput Tray、MailBoxへの排出を行うようにする。

【0072】

また、モバイルへのFAX入電通知を必要な相手に行うことにより、受信者の不要な手間を省くことができ、且つ送信者への迅速なサービスが可能となる。特に、モバイルへのFAX入電通知を緊急度の高い通信のみに限定するようにすれば、緊急を要する事象への対応をスピーディに行うことができる。

【0073】

次に、上述の（１）の処理と（２）の処理とを合わせて行う場合について説明する。

【0074】

具体的には、緊急度の高い通信の場合に所定の振り分けを行うと共に、緊急度が高くない場合でも、送信側から通知されてくる送信識別情報の内容をチェックして所定の条件を満たす通信の場合に所定の振り分けを行う場合の処理動作について図10を用いて説明する。

【0075】

図10において、この処理では、ステップS301からステップS305までの処理は、上述の図2及び図7の処理と同様の為ここでの説明は省略する。

【0076】

そこで、ステップS305において、通信が完了すると（ステップS305YES）、この処理では、システム制御部106の制御により指定条件情報に基づき送信識別情報がチェックされる（ステップS306）。

【0077】

ここで、まず、当該通信が緊急度の高いものであるかどうか判定される（ステップS307）。そして、当該通信が緊急度の高いものと判定されると（ステップS307YES）、上述の図7で示したステップS208以降の処理と同様の処理を行う（ステップS308～ステップS310→待機状態へ遷移の処理に相当）。

【0078】

一方、上記ステップS307の判定の結果、当該通信が緊急度の高いものでないと判定された場合には（ステップS307NO）、上述の図2に示したステップS107以降の処理と同様の処理を行う（ステップS311→ステップS308→ステップS309→ステップS310→受信したジョブに対するファクシミリ通信処理の完了或いはステップS311→ステップS312→受信したジョブに対するファクシミリ通信処理の完了の処理に相当）。

【0079】

即ち、このような処理を行うことにより、送信側から送られてくる送信識別情報をチェックした結果、当該通信が緊急度の高い通信でないと判定された場合にも、その他の所定条件リスト情報に基づいて送信識別情報をチェックし、振り分け処理対象の通信であると判定されれば、予めユーザにより登録指定されている所定の振り分け処理を行うことができるので、ユーザの希望する相手からのFAXを自動振り分け処理できる。

【0080】

また、上述の図1に示した複合機100では、G3FAX通信制御部112とG4FAX通信制御部113とを具える構成を示したが、これに限らず、上述のG3FAX通信制御部112とG4通信制御部113とを具えないものであっても良いものとする。

【 0 0 8 1 】**【発明の効果】**

以上説明したように、本発明によれば、受信した文書が自動振り分け対象であるか否か判定すると共に、自動振り分けする場合の所定の振り分け方法を判定する所定条件情報を予め設定し、送信側から通知されてくる送信識別情報の内容を設定された所定条件情報に基づいてチェックして当該通信による受信文書が自動振り分け対象であると判定された場合に該当する所定振り分け方法に応じて当該通信による受信文書の自動振り分け処理を制御するようにしたため、インターネットを介したファクシミリ通信において、受信文書を受信者側の所望する方法により自動的に振り分けることができるので、作業者の仕分け作業負担を軽減することができる。

【図面の簡単な説明】**【図 1】**

本発明に係わる画像処理装置を適用したファクシミリ通信機能を具えた複合機のシステム構成を示すブロック図。

【図 2】

インターネットファクシミリ通信において、送信側から通知されてくる送信識別情報に応じて当該通信の受信文書の自動振り分けを行う場合の処理動作手順を示すフローチャート。

【図 3】

送信側から通知されてくる送信識別情報の抽出方法を示す図。

【図 4】

受信文書の振り分けチェック設定画面の一構成例を示す図。

【図 5】

登録チェックリストの一構成例を示す図。

【図 6】

F A X 入電通知の通知内容の一構成例を示す図。

【図 7】

ファクシミリ通信を行う画像処理装置において、通知さえてくる送信識別情報

を元に通信の緊急度が高いと判断した場合に受信文書の自動振り分け処理を実行する場合の処理動作手順を示すフローチャート。

【図 8】

緊急文書の振り分け機能の設定画面の一構成例を示す図。

【図 9】

緊急度の高い文書の振り分け登録リストの一構成例を示す図。

【図 1 0】

図 2 の処理と図 7 の処理とを合わせて行う場合の処理動作手順を示すフローチャート。

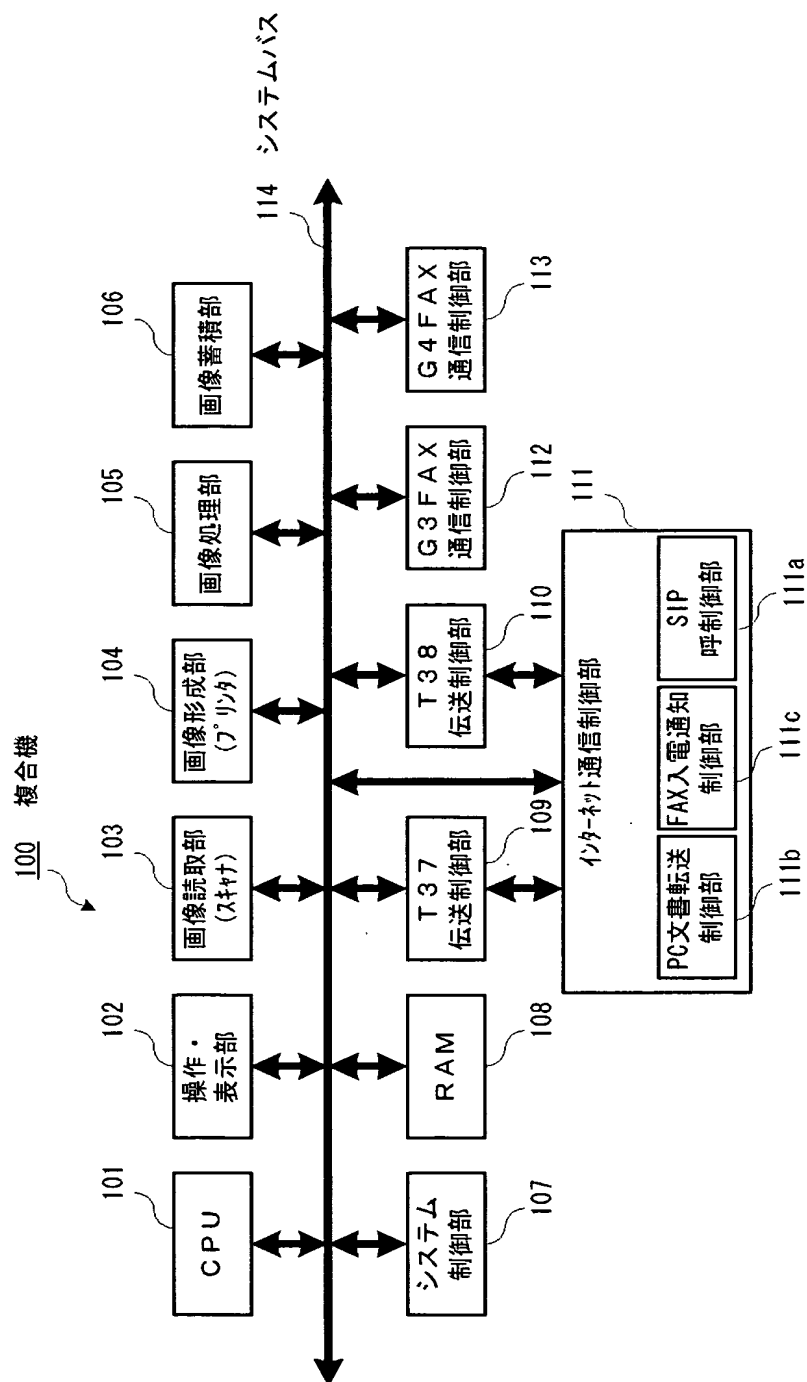
【符号の説明】

1 0 0 …複合機、1 0 1 …CPU、1 0 2 …操作・表示部、1 0 4 …画像形成部、1 0 5 …画像蓄積部、1 0 7 …システム制御部、1 0 8 …RAM、1 0 9 …T 3 7 伝送制御部、1 1 0 …T 3 8 伝送制御部、1 1 1 …インターネット通信制御部、1 1 1 a …SIP呼制御部、1 1 2 …G 3 F A X 制御部、1 1 3 …G 4 F A X 制御部、1 1 4 …システムバス

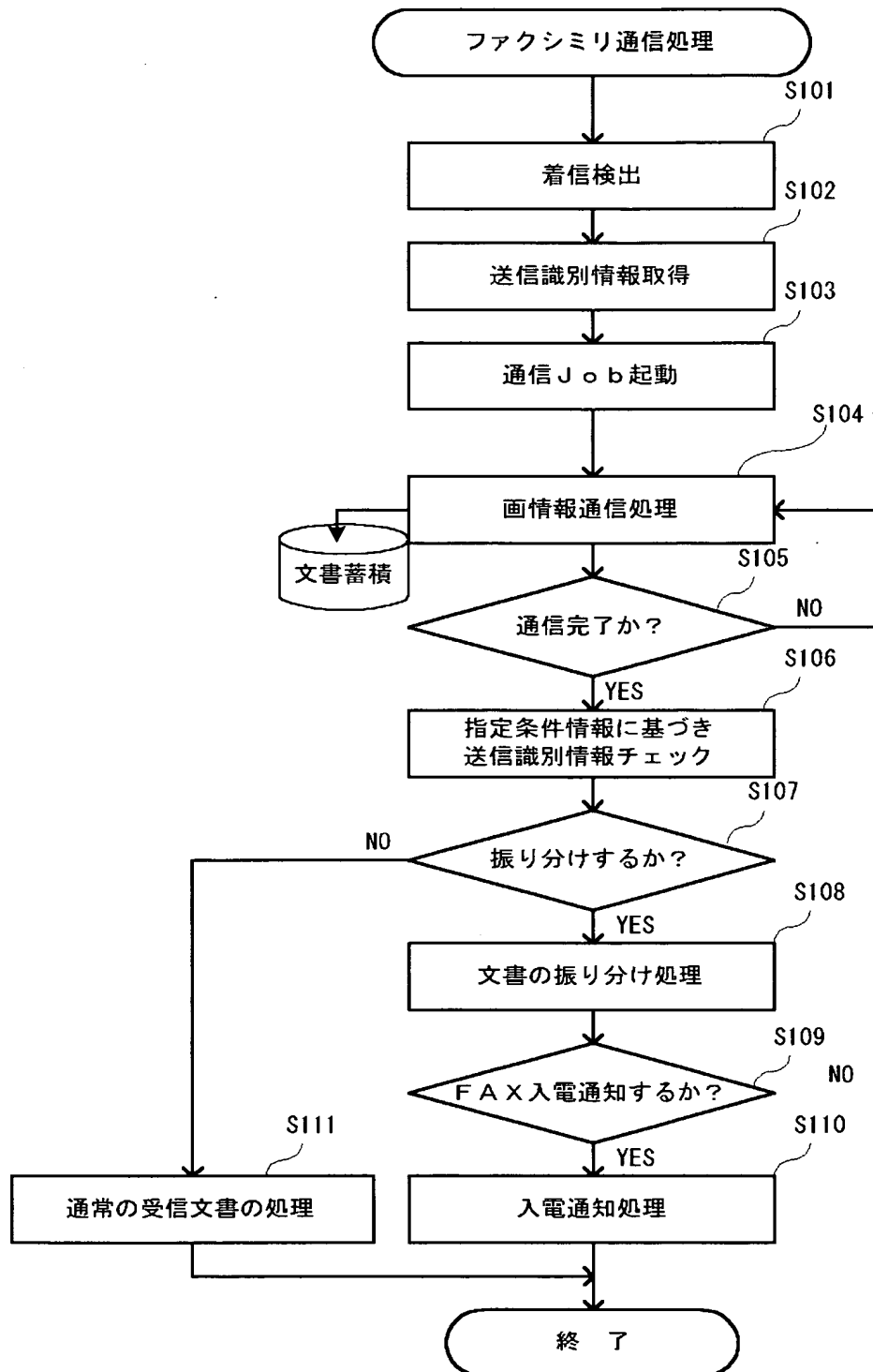
【書類名】

図面

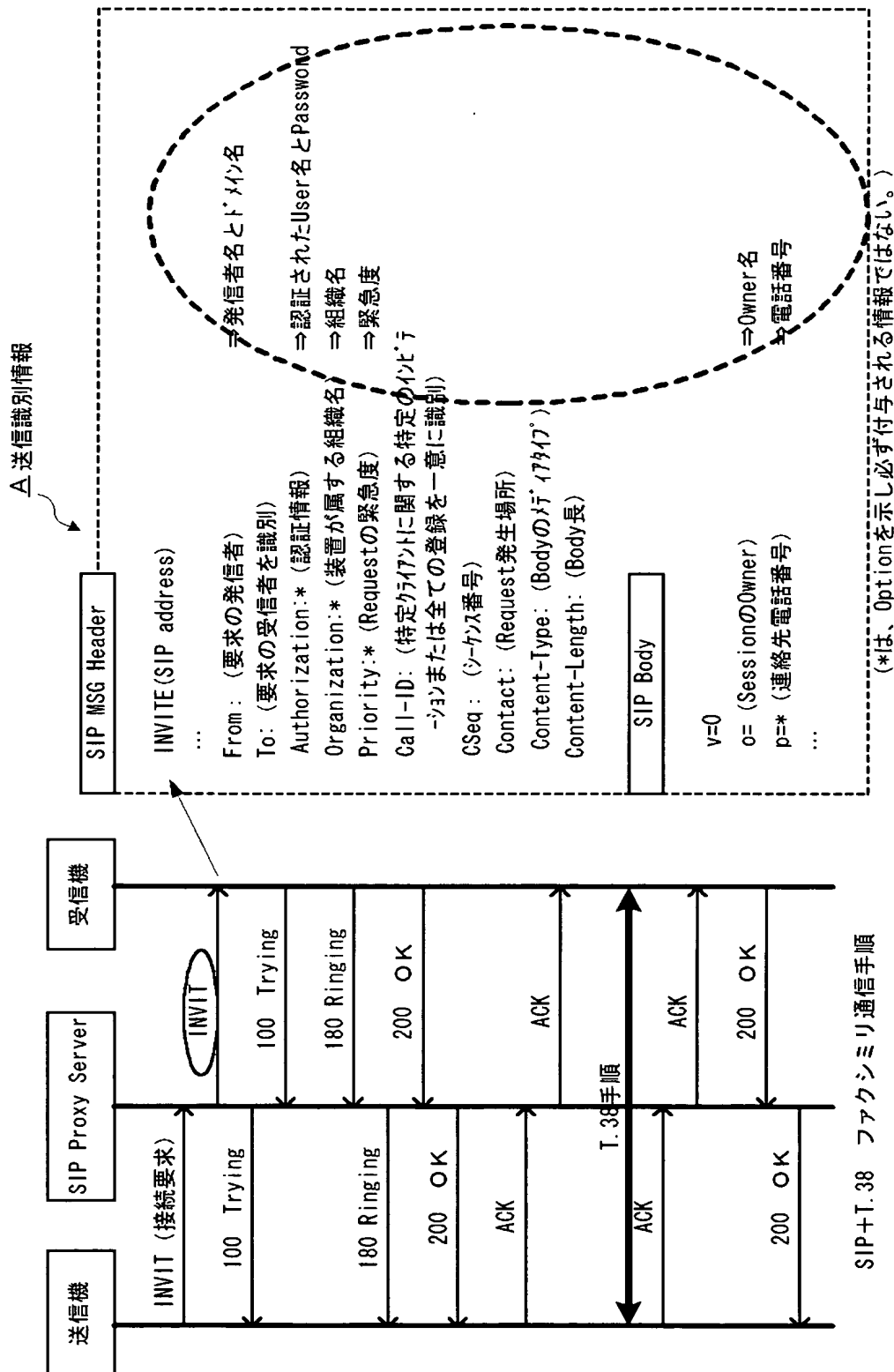
【図 1】



【図 2】



【図 3】



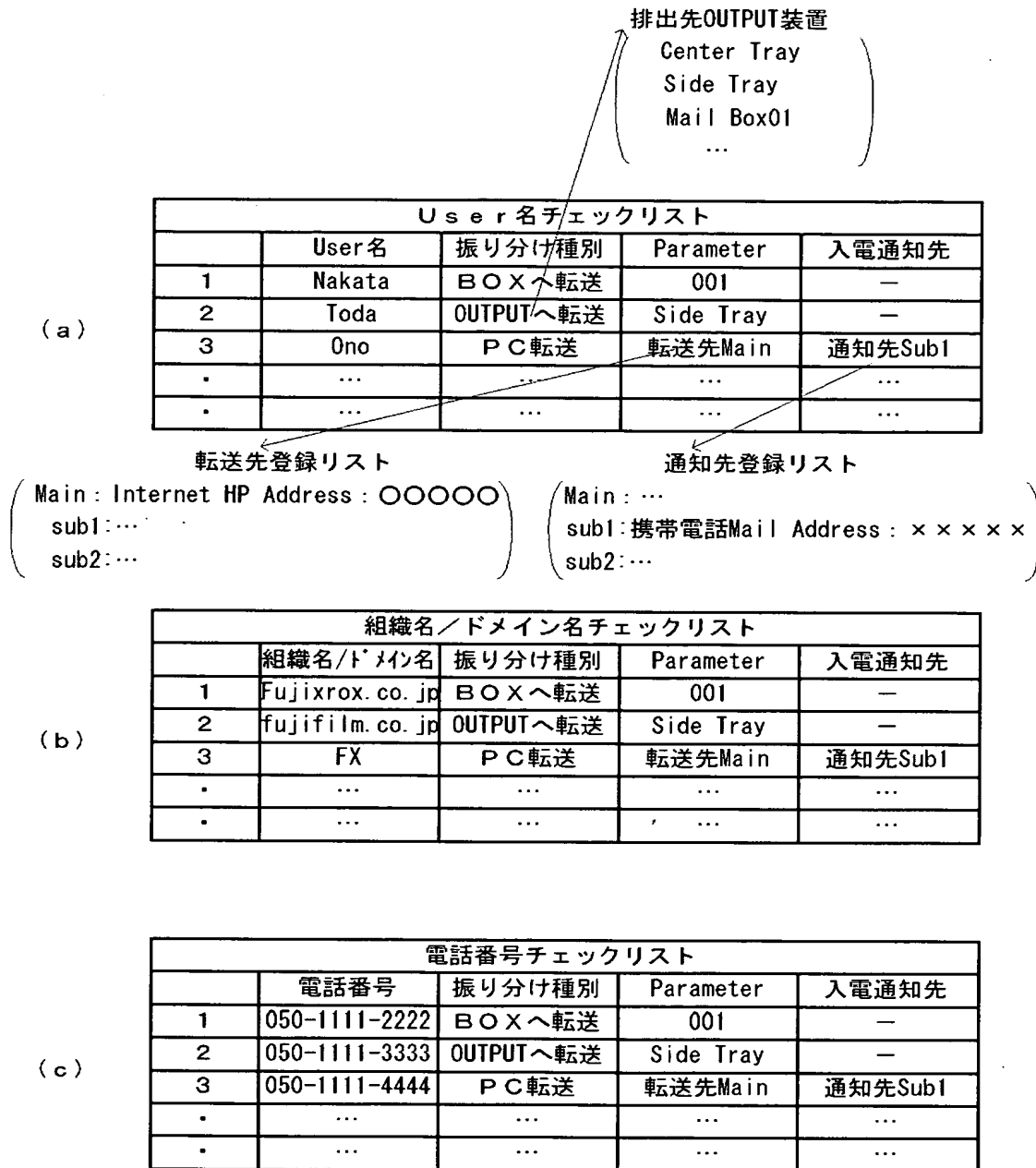
【図 4】

102-1

受信文書の振り分けチェック設定画面

User名チェック:	<input checked="" type="checkbox"/> する	<input type="checkbox"/> しない
組織/Domain名チェック:	<input type="checkbox"/> する	<input checked="" type="checkbox"/> しない
電話番号チェック:	<input type="checkbox"/> する	<input checked="" type="checkbox"/> しない

【図 5】



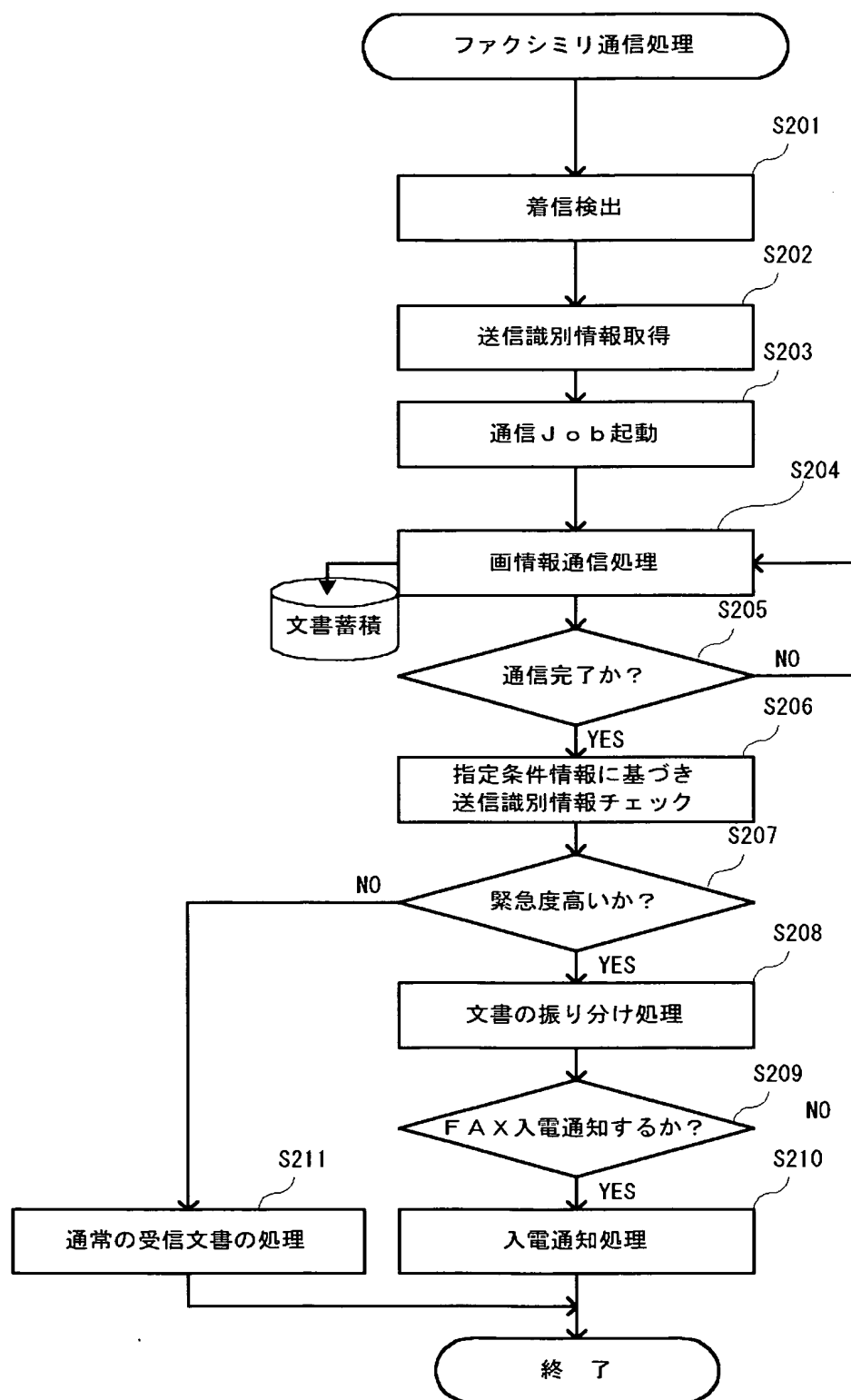
【図 6】

緊急のFAXを入電しました。

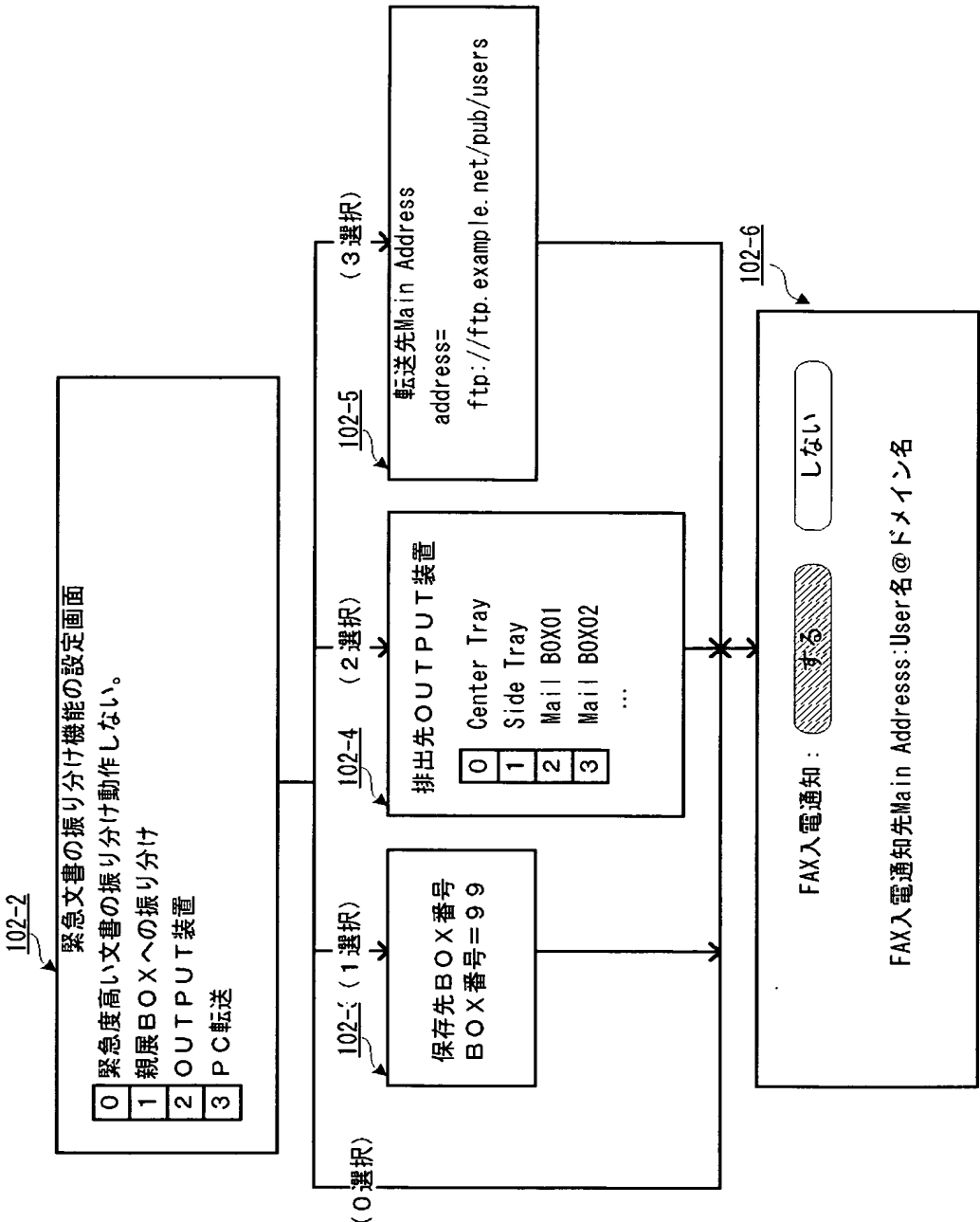
xxxxxxxxxxxx

に保存されています。

【図 7】



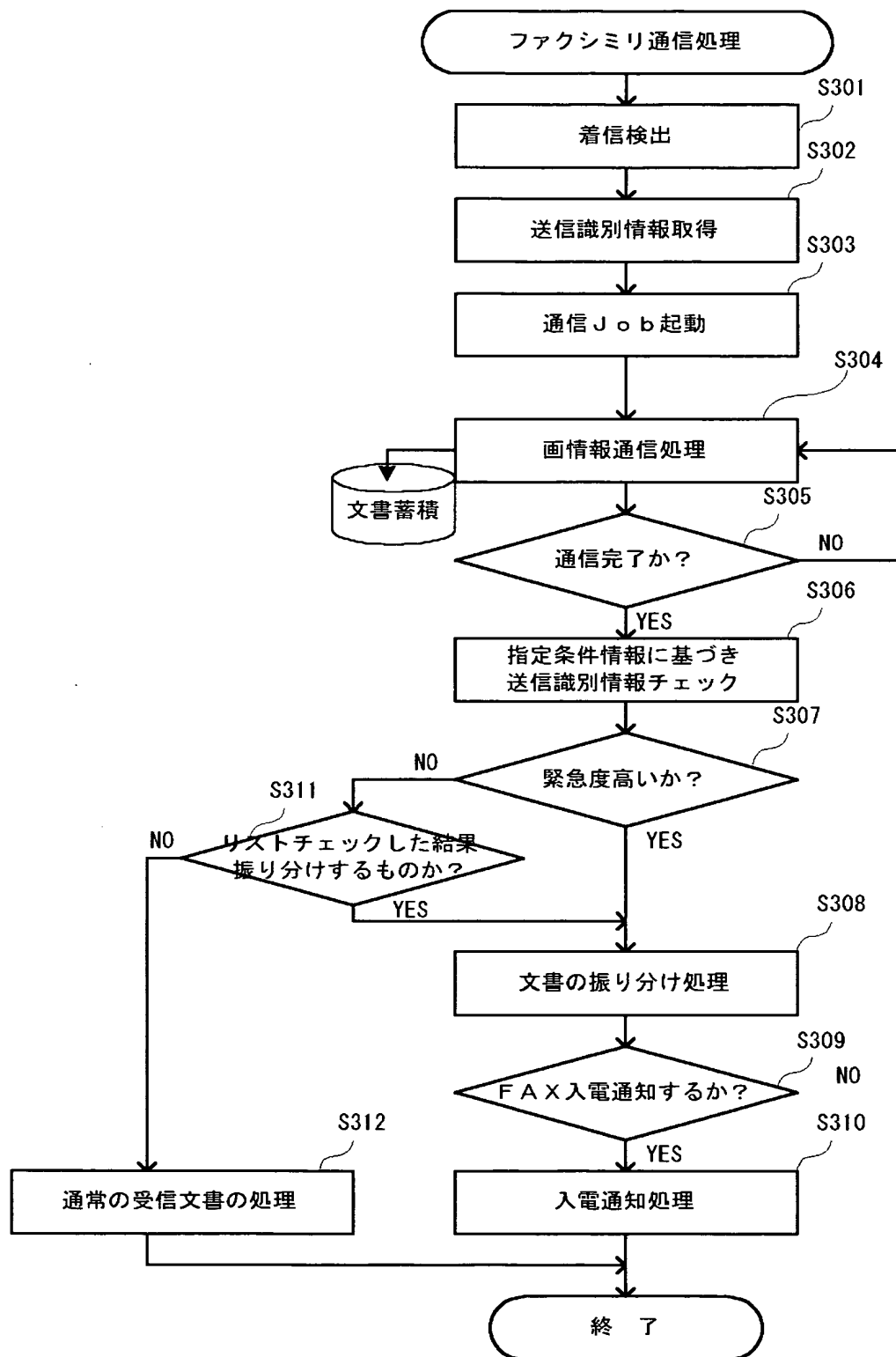
【図 8】



【図 9】

緊急度の高い文書の振り分け登録リスト		
振り分け種別	転送先	FAX入電通知先
PC転送	転送先Main Address: ftp://ftp.example.net/pub/users	FAX入電通知先Main Address: User名@ドメイン名

【図10】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 インターネットを介したファクシミリ通信において、受信文書を受信者側の所望する方法により自動的に振り分けることを可能とする。

【解決手段】 インターネットを介したファクシミリ通信手段を具え、該ファクシミリ通信手段により文書を受信する複合機 1 0 0 は、システム制御部 1 0 7 の制御に基づき、受信した文書が自動振り分け対象であるか否か判定すると共に、自動振り分けする場合の所定の振り分け方法を判定する所定条件情報を予め R A M 1 0 8 に設定記憶し、送信側から通知されてくる送信識別情報の内容を上記設定された所定条件情報に基づいてチェックして当該通信による受信文書が自動振り分け対象であると判定された場合に該当する所定振り分け方法に応じて当該通信による受信文書の自動振り分け処理を制御する。

【選択図】 図 1

特 願 2 0 0 2 - 2 7 2 0 8 4

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[0 0 0 0 0 5 4 9 6]

1. 変更年月日

1 9 9 6 年 5 月 2 9 日

[変更理由]

住所変更

住 所

東京都港区赤坂二丁目 1 7 番 2 2 号

氏 名

富士ゼロックス株式会社